

IsaPd療法【2コース目以降】

【血液内科】249【多発性骨髄腫】
(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 4週ごとを1コースとする

Day	1	8	15	22	~28
施行日	/	/	/	/	/
サークリサ	↓	休薬	↓	休薬	
オルガドロン	↓	休薬	↓	休薬	
レナデックス(経口)	休薬	↓	休薬	↓	
ポマリスト	経口: Day1-21				休薬

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順	投与時間	
※①	10時	生食 250mL 20mL/hr(終了時残破棄)
※①	10時	同時に側管より カロナール内服(必要時) → 別途内服オーダー ポララミン注5mg 1A (必要時) ガスター注20mg 1A (必要時) オルガドロン注19mg 2V 生食 100mL 30分
②	10時30分	●サークリサ【 】mg 生食 250mL 1時間15分

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量	
サークリサ	10mg/kg	mg/Body
オルガドロン	mg/m ²	38mg/Body ◎75歳以上: 19mg/body
レナデックス(経口)	mg/m ²	40mg/Body ◎75歳以上: 20mg/body
ポマリスト(経口)	mg/m ²	4mg/Body ※Day1~Day21服用(7日間休薬)

■注意・確認事項

- 点滴セットはフィルター付き輸液ルートを使用すること。
- サークリサ投与時は輸液ポンプを使用すること。
- サークリサ投与中または投与開始後24時間以内に infusion reactionが起こる場合があるので注意すること。
- 1コース目においてinfusion reactionが認められなかった場合は、2コース目以降のサークリサ投与における前投薬の必要性を再検討することができる。
- サークリサの投与速度 (詳細は点滴速度換算表参照)
 ≪3回目投与以降≫
 200mL/hr

入力 薬剤師	看護師	看護師